

2017年9月12日

国立大学法人 東京大学

東京大学の先端技術をオリンピック・パラリンピックを通じて世界へ!!

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会において
東京大学で生まれた**知的財産権（特許等）の活用（無償開放）を決定!**

国立大学法人東京大学（所在：東京都文京区、総長：五神真、以下東京大学）は、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の関連事業等の利用に限り、東京大学で生まれた特許等の知的財産権を無料で開放することと致しました。

1964年の東京大会にて用いられた技術（ピクトグラムや、接話型マイク）は、今日でも広く使用されており、同大会が世界中に技術を浸透させるきっかけとなりました。また、同大会は初の衛星中継も行われたテレビオリンピックのスタートでもあり、日本の技術力を世界中に発信することに成功した大会でもありました。

東京大学では、56年ぶりとなる2020年東京オリンピック・パラリンピックを、日本の技術力、テクノロジーの強みを世界へ再発信する場と位置づけ、積極的に大会に貢献することを決めました。東京大学で生まれた研究の成果を広く使用頂くことが、大学ができる社会への貢献であると考え、その試みとして、本大会（関連での使用）に限り、実施希望企業様に対して、東京大学で生まれた技術、保有する特許等の知的財産権の無償開放することと決定致しました。

東京大学から生まれた技術分野は、総合大学ゆえ多岐に渡ります。本大会の利用においても、①選手・競技に直接活用できる用途、②放映・放送に活用できる用途、③開会式等のイベント用途、④会場・選手村等での建設・設備関連技術用途等、幅広い技術をご紹介でき、これらの利用も関連利用と位置づけ、特許等を無償開放とさせていただきます。

【キャンペーン概要】

- 期間** 契約締結日～2020年パラリンピック終了日（2020年9月6日）まで
※準備期間においても、知的財産権（特許等）の無償開放可
- 条件** ・企業からの申し込み制で東京大学が承諾した案件に限る
・大会での使用報告書の（大会終了後）提出に同意頂いた企業に限る

本企画の契約交渉窓口であり東京大学の知的財産をマネジメントする東京大学子会社、株式会社東京大学TLO（所在：東京都文京区、社長：山本貴史）が、東京大学及び東京大学スポーツ先端科学研究拠点（東京大学内設置）と連携してこの試みを発信していくことと致します。

東京大学で生まれた先端技術の導入、実用化の促進の契機として、広く使用頂きたいと考えます。

【問合せ先】

株式会社東京大学TLO（担当：広報チーム）

連絡先（TEL） 03-5805-7661 （Email） press@todaitlo.jp

<http://www.casti.co.jp/>